

No.158
令和2年
11月発行

ラッキョん 議会だより

主な内容

- 令和2年度補正予算・・・・・・・・・・2～3 P
- 農業の担い手育成は（一般質問）・・・・・・6 P
- チップ工場の運営動向は（一般質問）・・・・10 P
- 議員構成決定・・・・・・・・・・11 P



ふるさと納税の積極的な取組を



29億6,036万7千円

前年度比
5.1%減

令和元年度一般会計決算

目的別 ※（）内は一般会計決算総額に対して占める割合 単位：千円

1. 議会費	56,715 (1.9%)	8. 消防費	113,242 (3.8%)
2. 総務費	460,798 (15.6%)	9. 教育費	225,671 (7.6%)
3. 民生費	412,116 (13.9%)	10. 災害復旧費	163,488 (5.5%)
4. 衛生費	186,019 (6.3%)	11. 公債費	383,248 (12.9%)
5. 農林水産費	383,250 (13.0%)	12. 諸支出金	0
6. 商工費	114,488 (3.9%)	13. 予備費	0
7. 土木費	461,332 (15.6%)		
歳出合計		2,960,367 千円	

第1回臨時会

9月14日



その他可決された案件

令和2年度補正予算

- ・宇検村一般会計補正予算
- ・宇検村国保事業特別会計補正予算
- ・宇検村簡易水道事業特別会計補正予算
- ・宇検村農業集落排水事業特別会計補正予算
- ・宇検村介護保険事業特別会計補正予算
- ・宇検村後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算

人事

- ・宇検村固定資産評価審査委員会委員の選任について 伊村 廣文 氏（湯湾） 同意

その他

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について
- ・教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

令和2年度一般会計

補正による主な事業

総務費

避難所改修工事
防災備蓄倉庫建設工事

3,800万円



教育費

公立学校情報機器整備費
(備品購入費)

1,390万円



商工費

奄美大島満喫ツアー助成事業
宇検村観光魅力再発見事業補助

3,687万円



災害復旧費

田検名音線（工事請負費）

2,539万円



令和2年度補正予算

- ・（専決処分）一般会計補正予算

人事

- ・宇検村監査委員会委員の選任について 喜島 孝行 氏（湯湾） 同意

《特別会計決算について》

7 特別会計歳入決算総額 946,746 千円で、前年度比 6.3% の減、歳出決算総額 897,206 千円で前年度比 9.9% の減となっております。

国民健康保険事業においては、現年度の税の徴収率は 95.3% で前年度より 3 ポイント高く、収入未済総額は 1,510,622 円、不納欠損額が 155,300 円であります。その他の 6 特別会計で収入未済総額は 3,464,655 円、現年度の使用料徴収を中心に行っているためではあるが、滞納額が高額となっております。今後、全庁的な取り組みが必要と考えます。

本来、特別会計は独立採算が原則であるが、依然として一般会計からの繰入が多く、本体である一般会計の財政を圧迫している状況は抜本的な対策が求められます。集落排水事業の加入率については、年々減少傾向にあります。加入率の向上に努めていただきたいと思います。漁港漁村集落排水事業は、89.5% が繰入の現状から将来を見据えた抜本的な対策と、村としての将来の方向性を摸索する必要がありますと考えます。集落排水整備のされている地区と未整備地区では、維持管理費の個人負担の状況から見ても不公平であり、滞納、不納欠損については厳正な対応を望みます。

令和元年度決算は概ね初期の目的に沿って執行されたと一応評価します。

経常収支比率 92.4% 実質公債費比率 9.9% 将来負担比率はなしで、改善傾向にあるが、財政健全化に向けて尚一層の努力を切望する。又、一般会計及び 7 特別会計の起債残高合計は 5,039,380 千円です。財政の弾力化、健全化にむけて今後、更なる行財政改革の持続的な努力と自主財源確保のための施策が求められる当面の課題と言えます。

＜主な質疑・意見＞

- ・税の徴収では電話での催告などで分納され努力が認められるが、住宅使用料をはじめとする、各使用料や村税の徴収体制については全庁的な取り組みをすべき。
- ・ふるさと納税の積極的な取り組みをするための体制づくりをすべき。
- ・普通建設事業の明許繰越が多いが、事業の執行については計画的にはやめに執行すべき。
- ・農業集落排水事業や漁港漁村集落排水事業の加入率については、未加入者の分析を行い、村民にあった加入促進をすべき。

《審査の結果》

本決算審査特別委員会に付託された令和元年度一般会計及び 7 特別会計決算は、賛成多数で可決いたしました。少子高齢化は益々深刻で財政へ大きく影響している現状で、政治は全ての村民に公平公正でなければなりません。特に滞納金徴収に当たっては、条例や要綱に従い対策が取られるべきである事を強く申し上げておきます。「無駄を省き最少の経費で最大の効果」を念頭におき、議会、執行部自らが襟を正し、今後も住民のため、住民の福祉向上のために職員一丸となって取り組む事を強く望みます。

最後に、執行部は本特別委員会の指摘と提言を真摯に受け止められて、職員一人一人が問題意識をもって財政の改善に取り組む事を強く要望して、令和元年度決算審査特別委員会の報告とします。

令和元年度宇検村一般会計・特別会計決算審査報告



決算審査特別委員会
委員長 保池 穂好

《審査の概要》

認定第 1 号宇検村一般会計歳入歳出決算及び認定第 2 号国保事業特別会計 認定第 3 号国保施設事業特別会計 認定第 4 号簡易水道事業特別会計 認定第 5 号農業集落排水事業特別会計 認定第 6 号漁港漁村集落排水事業特別会計 認定第 7 号介護保険事業特別会計 認定第 8 号後期高齢者医療事業特別会計の決算審査は 9 月 30 日、10 月 1 日の 2 日間に渡り審査いたしました。

審査に当たっては、住民の税収を財源に住民の福祉向上のために、単年度にどれ程の行政効果・経済効果をもたらしたか、無駄を省き歳入・歳出が明確化されているか、又、全ての村民に公正、公平に行政運営が行われているか、を重点に審査をした結果、賛成多数で原案の通り認定すべきものと可決いたしました。審査の詳細について以下報告いたします。

《一般会計決算について》

歳入決算総額 3,117,253 千円で主な内訳は自主財源 353,349 千円で 11.4% 依存財源は 2,763,904 千円で 88.6% 繰越金は 139,577 千円で 4.5% となっております。

財源比率に於いては依存財源頼みの行政運営ですが、今後も知恵を出し合いながら、更なる自主財源確保のための取り組みを望みます。

村税と使用料については、現年度の徴収率が前年度より高くなっており、職員の取組が高く評価できるが、収入未済総額は 9,110,096 円、不納欠損額が 468,600 円と多額で深刻な状況にあります。主な収入未済額については、村税の固定資産税が 2,287,400 円で不納欠損額は 451,000 円、住宅使用料が 6,805,096 円であります。その要因は、死亡、村外転出、住所不明等があり、支払いの出来る納税者には諸々の対策を庁内全課で取り組むべきと考えます。住宅使用料の滞納整理については、新たに制定した滞納整理事務処理要領に従い、村民の公平公正な観点からも早急に対応していただくことを強く望みます。ふるさと納税については、新たな商品開発や、寄付金の増に向けて積極的に取り組みをしていただきたい。歳出決算総額は 2,960,367 千円で、内訳は義務的経費 1,057,667 千円で前年度比 19,155 千円の減、投資的経費 834,100 千円で前年度比 81,035 千円の減、その他の物件費、繰出金等は 1,068,600 千円で前年度比 58,881 千円の減で、本年度歳出総額は前年度比 159,071 千円の減となっております。令和元年度、歳入歳出差引額 156,885 千円が翌年度へ繰越金となっております。少子高齢化で人口減少に歯止めが立たない現状ですが、職員一丸となって村の経済活性化に努めるよう切望いたします。



村政を問う

農業の担い手育成は 人農地プランを令和3年度に作成



倉本 富夫 議員

農給付金や支援金などがあ
るが使用状況は。

(産振課長) 今まで行った事
業の中に新規就農者を応援
した事業がある。今は終わ
っている段階だが2名の方
が参加していただいた。

(倉本) その方々以外にも
今後またやりたいという方
がいたら支援してもらえ
るのか。

(産振課長) 新規参入大いに
歓迎している。

(倉本) 若い農家の方が少
ないが農業の専門学校出身
者を担い手になってもらい
育成してもらおう環境がで
ればと思うが今後の展望は。

(村長) 村外の方でも意欲
がある方なら大変歓迎した
い。そのためにも農地の集
積等が必要になってくると



▲フィンガーライム栽培の様子

思うので中間管理機構に集
約するときに先に手を打っ
て行きたいと考えている。

(倉本) 本村には遊休農地
が23・8haと聞いているが、
各校区別の面積、そして遊
休農地の活用施行は。

	農地面積	遊休農地面積	比率
久志校区	43 ha	2.4ha	5.6%
田検校区	71ha	13.8ha	19.4%
名柄校区	11ha	2.5ha	22.7%
阿室校区	26ha	5.1ha	19.6%

▲校区別遊休農地面積

(村長) 今後の活用施行が
個人では無く生産組合での
営農、管理を促し農地中間
管理機構と連携し農地集積

や高収益作物への転換、集
団営農での栽培技術の統一、
農作物の品質向上を図る。

SNSの活用は

(倉本) 宇検村のホームページが少し物足りなく、またフェイスブック等の更新頻度も少なく、なかなか情報が探せないと感じる。今後の世界自然遺産登録に向けた今後のSNSの利用方法についてどう考えているか。

(村長) 村政100周年を迎えた平成29年にリニューアルして村民向け、観光者向け、村の概要などに項目分けをし、情報の出し方は担当によってまちまちであるのが現状。観光向けに関してはフェイスブックを絡めた情報発信をさせていく必要があると考えている。

「職員人材育成基本方針」に基づく、職員人材育成は 前期と後期の年2回、人事評価を実施



壽山 新太郎 議員

(壽山) 「職員人材育成基本方針」に基づく研修等の開催状況は。

(村長) 基本方針に基づく研修として、自己啓発を図る研修、職場内研修、職場外研修、派遣研修等を実施している。

(壽山) 職員の挨拶がない等の苦情をよく聞くが、住民サービス向上を図る研修会の実施は。

(総務課長) 現在のところ実施していないが、今後はそういう研修会を取り入れて、職員の資質向上を図っていききたい。



▲新規採用職員研修の様子

(壽山) コンプライアンス及び内部統制の対策は。
(村長) 前期と後期の年2回、人事評価を実施している。今後はコンプライアンス及び内部統制を意識した研修も定期的に行い、村民の福祉増進が図られるよう努めていく。

(壽山) コンプライアンスで重要なことは、内部統制であり組織をガバナンスする仕組みであることからこのことを踏まえコンプラの重要性を再度確認して頂き積極的な取組をお願いしたい。(要望)

職員数の実態について

(壽山) 「定員適正化計画」の進捗状況及び今後の対策は。

(村長) 職員数については目標68名以内に対し現在67名であり計画通りの定員管理である。今後の対策は令和3年度策定の「新定員適正化計画」により、将来的にも組織力低下を招かないよう、年齢別職員構成の平準化と職員の資質向上に努めていく。

(壽山) 更なる住民サービスの向上を図るため職員数を増やす考えは。

(村長) 住民サービスは予算の執行により行われるものであり、最小限の経費で最大の効果を上げられるよう、「新定員適正化計画」の下、更なる住民サービスの向上に努めていく。

人口減少対策について

(壽山) 抜本的な対策案は。

(村長) 島外に向けた関係人口、創出活動の展開、島内向けには子育てできる環境への取組を加速し、本村を拠点として、島内通勤もアピールできる住環境の整備を検討していく。

(壽山) 本村出身の子供達が将来本村に就職できる環境整備についてどのように取組んでいくのか。

(村長) 企業誘致や個人企業を支援する取組の充実や、村内事業者への経済活動も引続き支援していき、地元企業への就職も応援できればと考えている。

奨学資金制度について

(壽山) 奨学資金制度の貸付事業についての見直し、検討はできないか。

(教育長) 他市町村の奨学金制度の資料等を提示し、理事会・評議員会において協議し、検討していくが現時点では奨学金貸与という本来の方法が望ましいと考えている。

(壽山) 長島町では「プリ資金」という資金がある。内容は卒業後10年以内に地元に戻るとし、就職することや条件に、返済額全てを補填するという資金であり本村においても人口減少対策でUターンする若者を増やす取組にも直結する大変すばらしい資金であるので、時間をかけてでも土台を作ってぜひとも検討していただきたいが。

(村長) 今後、時間をかけてしっかりと関係機関と協議し、地域共生事業と並行しながら、村民の声をしっかりと聞き入れ意見を生かしていききたい。

各集落への助成は 各集落30万円の助成



保池 穂好 議員

(保池) 新型コロナウイルス感染症対策として、豊年祭が中止になっているが各集落や青年団への補助はできないか。

(村長) 地域コミュニティ活動補助として1集落30万円全額臨時交付金で補助をする。

(保池) 主催が青年団のところもあるが。

(総務課長) 各集落全体は把握しておりませんので集落で対応していただきたい。

(保池) 集落の規模、人数等を考慮し、均等割り、人数割りですべきでは。

(総務課長) 限られた予算なので一律助成とした。
(保池) 基準日以降生まれた乳幼児への助成はできないか。

(村長) コロナの終息が見えない中新しい生活スタイルの中でどのような子育て支援が必要なのか現在行っている子育て支援金の在り方を村民の意見を聞きながら取組んでいきたい。

(保池) 現在基準日以降に生まれた子が3名いるとの事ですが助成はできないか。

(保福課長) 令和3年3月までに5名の予定。期間や財源等の議論が必要と考える。

(保池) 期間はワクチンができるまで、指定感染症第2類〜5類まで等の区切りまで村単独でも支給するべきと考えるが。

きと考えるが。
(保福課長) 保健福祉課筆頭に検討していきたい。

交通対策はどうなっているか

(保池) グリーンスローモビリティの進捗状況は。

(村長) 令和元年に宇検村地域公共共通会議において提案された湯湾区域を巡回するグリーンスローモビリティについては現在導入事業の申請書を題している段階。採択されれば発注により4ヶ月を経て宇検村に導入される運びとなる。

(保池) 障害者等も乗れる車両を要望したが。

(企観課長) 国庫補助対象車両では無いため5人乗りの車両を申請している。

(保池) 村内の交通対策は。
(村長) 令和元年10月1日から部分的デマンド運行をしている。グリーンスローモビリティを巡回すること

によって高齢化が進む宇検村の地域内交通の利便性が向上するように検討していきたい。

建設発生土

(保池) デマンド交通で対応してはいるもののまだまだ足りないという声があるが。

(企観課長) 増便の考えは無いが、既存の中でいかに利用しやすくなるか検討していく。



▲導入予定車両

白浜洗掘箇所の対策は

(保池) 洗掘箇所の対策は。

(村長) 台風10号襲来後、瀬戸内事務所と確認した。県としても道路の安全を確保するため本年度中の対策

工事着手に向けて準備を進めていくとの回答。

(保池) 残土処分場村内設置の考えは。
(村長) 地形的に良好な場所を3カ所程度選定しており、関係機関と協議を進めていく。

★その他の質問
・うーけん発見！再発見！の効果は。

あなたも、議会を傍聴してみませんか
議会は、村の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。ぜひ、傍聴においでください。
○ 定員(26名)の範囲内で、どなたでもご自由に傍聴できます。
○ 受付票に住所・氏名を記入していただくだけです。
○ 第3回定例会は、12月上旬を予定しております。

村振興育英財団みなし解散になった原因は 体制が機能していない



吉永 常明 議員

(吉永) 令和元年12月みなし解散になった原因は。

(村長) 育英財団の事務を兼務している教育委員会事務局でチェック体制が機能しておらず、担当者が届出を怠ったため、令和元年12月11日に登記官が職権で解散の登記を行っていた。

(吉永) その後の経過は。

(村長) 司法書士の指導、助言の下、令和2年6月29日に定時評議委員会、臨時評議委員会、理事会を同日開催し、必要書類の整備後、法務局へ継続登記を行い、通常の体制に戻っている。

(吉永) 今後、現在の償還金で借りる人への対応はできるのか。
(教育長) 今の償還金1000万程度と通帳残高で賄って行けると思う。

防災対策は

(吉永) 台風10号において避難所開設、避難時間、避難場所の問題は無かったか。

(村長) 各集落公民館だけでなく、消防団への協力も依頼し、学校も避難所として開設する体制をとり、村営住宅とやけうちの里も開設した。避難場所は、有熱者対応を含め、村内24カ所を開設。全ての警報に対応し、大人数でも受け入れ可能な学校に避難所機能を充実させ、避難への不安解消に努めていきたい。

(吉永) 公民館は村の方で

(吉永) 村にはコンクリートの建物が少なく、今回の避難場所に村の体育館、元気の出る館の判断は。

(総務課長) 村の体育館は過去2回、屋根が飛ばされた経緯があり今回は外し、元気の出る館は当初から有熱者の対応で考えていた。

(吉永) 各集落全員が避難するには、集落公民館では数足りないと思うが。

(総務課長) 学校を避難施設として考えている。
(吉永) 今後、学校を避難所にするにあたって、防災シャッターのような設備だとか、簡易ベッドを使うことはできないか。
(総務課長) 段ボールベッド、現在検討しており注文済み。安価なイメージがあるが1セット1万5千円かかり、他のもので代用できるものを考えている。

(吉永) 10月以降に事業を

発電機が用意されているが学校は。

(総務課長) 3時間持つバッテリーを各校区に3個ずつ今回学校に準備した。
(吉永) 名柄集落三叉路及びへりポートの冠水対策は。
(村長) 三叉路は県の改良工事終了から4年しか経過しておらず新たな工事計画は難しいが、へりポート冠水も含め関係機関と連携を図り検討を進めていきたい。

コロナ対策事業について

(吉永) うーけん発見！再発見！事業の成果は。
(村長) プログラム58種類の内容でスタートし、8月10日までの予約で打ち切りとなった。利用者数が1002人、延べ人数が4001人。事業の目的である観光業者への早急な支援の成果はあったと思っ

ている。

立てているプログラムの対応は。

(企観課長) 第2次の補正で目線を変えた形でプログラムを組んでいきたい。
(吉永) 平田集落の農業用水ダムについて伺う。
(村長) 集落からの要望を受け現場の確認後農家等との修繕の方法も協議し現在貯水タンクへの水を送る工事をしている。

結いの館について

(吉永) 活性化センターの今後の活用方法は。
(村長) 加工室の機器整備を行い利便性を図り新たな特産品の掘り起こしにつな

げたい。
(吉永) 会議室をうーけん市場として利用の考えは。
(企観課長) 体験観光多目的交流施設の建築建設委員

議会構成決定!!

議長



杉浦治俊

趣味：釣り・ドライブ

一言：みんなで頑張ろう夢ある宇検村へ!

副議長



吉永常明

趣味：釣り・お酒

一言：I LOVE 宇検村。コロナに負けるな!

= 総務文教常任委員会 =



委員長
肥後充浩

趣味：映画鑑賞・スポーツ鑑賞

一言：笑いがあり健康で豊かな宇検村を目指して!

副委員長
海原隆家



趣味：家庭菜園

一言：何事にも一生懸命!



委員
壽山新太郎

趣味：DIY・スポーツ鑑賞

一言：万里一空の精神で頑張ります!

= 建設経済常任委員会 =



委員長
保池穂好

趣味：釣り(釣れないですが、、)・ツーリング

一言：世界遺産で人儲け!



副委員長
喜島孝行

趣味：映画鑑賞・スポーツ鑑賞・ゴルフ

一言：世界自然遺産登録の早期実現を!



委員
倉本富夫

趣味：釣り(船釣り以外)

一言：農業、漁業の発展に力を入れていきたい!

チップ工場の運営動向は 継承会社一件見込み



肥後 充浩 議員

(肥後) 宇検村のチップ工場の稼働が終了と聞いています。

(村長) 7月に工場より10月まで出荷し、11月から解体に入るとの連絡があり、8月に工場の本社にて説明を聞いた。9月に工場より継承したい会社があるとの連絡がありその会社の動向を注視していきたい。

(肥後) 畜産農家や、他市町村の畜産農家への対応は。

(村長) 現在8戸の畜産農家に無料配布し、1農家1事業者へパークへの販売を行っているっており、今後も継続し

て敷き藁として提供していきたい。

(肥後) パークの確保が困難な場合、1億円相当の経費をかけて建設した新堆肥場の今後の利用方法と、宇検村元気の出る公社の運営はどうするのか。どのような運営計画を考えているのか。

(村長) 堆肥センターの利用方法として基本的には従来通りの利用方法で行きたい。公社の運営管理についても従来通りと考えている。

(肥後) 一般農家への堆肥の供給は安価で販売ができるのか。安価な堆肥は農家の生産意欲も支えていると思うので耕作面積が小さいところでは特に必要だと考

(村長) 堆肥の供給は年間550t程度販売している。必要量を確保して供給できるように努めていきたい。



▲現在のチップ工場の様子

災害対策について

(肥後) 今回の台風の避難所において村民の3割ぐらいの人が避難したが、雨戸の無い所のチェックは行っているか。

(総務課長) 公民館の雨戸ですが全てのチェックは行っていない。

(肥後) 公民館はみんなの集合場所であり、「人の命」

にかかるとのことなので来年の今頃には雨戸が全てあるような予算の組み方をお願いしたい。台風終了後区長さんや消防、避難所に関わった方々の検証を行ったか。

(総務課長) 現在全員集まっの検証は行っていない。今後関係機関と協議し検討していきたい。

(肥後) 忘れないうちに検討しないといけない。どこが悪かったのか改善しようとか集落の区長、消防団、民生委員等の体制作りができない。検証だけは是非今月中に行って頂きたい。(要望)



▲8月に開催された防災訓練の様子

職員採用について

(肥後) 本年度の職員採用はないのか。

(村長) 会計年度任用職員制度の導入により今後業務量の見直しを行い、採用については来年度以降総合的に判断していく。

世界遺産登録について

(肥後) 今後の世界遺産登録の審査予定はどうなっているか、現在の進行状況は。

(村長) 今年6月中国で予定だった世界遺産委員会が新型コロナウイルスのため延期になり、勧告の見通しも立たない状況である。コロナウイルスの現状から見れば延期も仕方なく審査自体には影響は無いと考えている。



あの現場は今??

令和2年10月5日(月)現地調査を行いました。



▲ 生勝～芦検間の白浜の現場 ▲



▲ 宇検船越線改良工事の現場 ▲

議会だよりについてご意見をお聞かせください

議会だよりは定例会ごとに年4回発行し、各世帯に配布しています。内容については、定例会の概要や一般質問の要旨等を掲載していきます。今後も「分かりやすく・親しみやすい」議会だよりの作成を目指し取り組んでいきます!!

皆様からのご意見をお待ちしております☆

【お問い合わせ先】議会だより編集委員会

電話：67-2211

メール：gikaijimukyoku@uken.net

編集後記

すっかり日が短くなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。私たち宇検村議会は新たなメンバーを迎えスタートすることができました。これも村民の皆さまの深いご理解とご支援の賜物と心から感謝申し上げます。そしてまた、ご勇退されました一人の先輩におかれましては長い間宇検村発展の為に尽力いただきありがとうございました。1期4年の短い間でしたが一緒に活動できたことを誇りに思い、教えられたことを大事にこれからも村発展のために邁進いたします。さて、世界はコロナ渦に巻き込まれ、経済的にも非常に厳しく、人と人との繋がり希薄化等様々な影響を受けております。宇検村では、コロナ対策でうーけん発見再発見が行われました。村内の観光事業者向けの対策ですが、村民の皆様幅広く宇検村のいいところを発見、再発見できたのではないかと感じております。私が幼いころよく耳にしていたのが、「宇検には何も無い」と呑みの場で大人たちが言っていたのを覚えています。高校に行って友達に「宇検でどんなところ」と聞かれると「宇検は何もないよ」と言っていました。宇検村の魅力は宇検村の皆さん自身が営業マンとなり口コミでたくさんの人儲けしませんか。 保池 穂好

【発行責任者】

議長 杉浦 治俊

委員長 保池 穂好

委員 壽山 新太郎

委員 倉本 富夫

【議会だより編集委員会】